

令和 8 年度
事業計画書

介護老人福祉施設

姫路・勝原 木一ム

1. 事業の内容

事業の指定	介護老人福祉施設
事業の名称	特別養護老人ホーム 姫路・勝原ホーム
指定番号	2874000561
施設の所在地	〒671-1201 姫路市勝原区下太田 573 TEL 079-273-1311 / FAX 079-273-4321
事業開始	平成元年7月1日
管理者	施設長 石田文徳
利用定員	58人

2. 事業目標

次に掲げる年度目標の具体的対応策を周知・実行し、理念の実現を目指す。

目 標	職員間で利用者個々の意向や困り事を共有し、ニーズに合わせた支援に努め、笑顔が増え、潤いのある生活を図っていくことで、稼働率98%以上を目指す。
理 由	利用者個々のニーズや支援、業務に関する共通認識が不十分なことからチームワークを含め、多職種協働による支援の意識づけを図りたいため。 導入している見守りセンサーやインカムなど介護機器利用に関する評価を含め、生産性の向上を図り、業務改善につなげたいため。 計画的に企画したプログラムを実施していくことで楽しみやめりはりのある生活につなげ、心身の活性化を図りたいため。
具体的対応策	1. 利用者にとって、潤いのある生活が営めるよう、利用者と職員が一緒に楽しめるレクリエーション、クラブ活動、行事を生活相談員とレクリエーション委員が中心となり、実施する。 2. 介護生産性向上員会を中心に介護機器利用に関する検証を行い、業務改善に努める。 3. 多職種協働による支援へのあしがりとして、各種会議にて活発な意見交換を行い、共通認識による統一した支援に努める。 4. 利用者が入院した場合、定期的に状態を確認し、円滑に退院できる体制を整える。退居があった場合は1日も早く新たな利用者が入居できるよう、次期利用予定家族との連絡を密にし、現状把握に努め、円滑な入居手続きを行う。

3. 職員配置

介護保険法に定められている人員配置基準を遵守し、一人ひとりの利用者が、安全で快適な生活が過ごせるように次の人員を配置する。

職 種	常 勤	非常勤		パート		外国人		合 計	
		人数	換算	人数	換算	人数	換算	人数	換算
施 設 長	1							1	1.0
事 務 長	1							1	1.0
事 務 員	2			2	1.0			4	3.0
介護支援専門員	1							1	1.0
生 活 相 談 員	1							1	1.0
機能訓練指導員	1							1	1.0
看 護 職 員	2			3	1.5			5	3.5
介 護 員	14			6	3.7	4	4.0	24	21.7
管 理 栄 養 士	1			1	1.0			2	2.0
調 理 員				10	5.6	2	2.0	12	7.6
医 師		1	0.1					1	0.1
理 学 療 法 士		1	0.1					1	0.1
作 業 療 法 士		1	0.1					1	0.1
そ の 他				3	0.8			3	0.7
合 計	24	3	0.3	25	13.6	6	6.0	58	43.9

※ 短期入所生活介護の人員も含む。

※ 機能訓練指導員は看護師を兼務。

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、全ての職員が次のいずれかの委員会に属し、多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活 動 目 標	活動回数
認知症委員会	認知症介護に関する理解を深め、受容的対応を行うなど、日々の支援の中で活かせるように各職員の認知症対応力の向上とスキルアップを図る。	月 1 回開催 【施設内研修】 5 月
栄養委員会	食中毒に加え、災害など非常時の備蓄食品の取り扱い方、保管場所、調理設備や食器等、必要な備えについて、全職員で情報を共有し、共通認識を図る。	月 1 回開催 【施設内研修】 6 月
感染・衛生委員会	業務継続計画に沿って、感染症予防のマニュアル（コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等）の見直しと各職員への対応策の周知徹底を図るための施設内研修を実施する。	月 1 回開催 【施設内研修】 11 月
医療的ケア安全対策委員会	褥瘡予防、感染症予防と発症時の対応等、多職種との連携向上を図る為の検証を行い、利用者の健康で安全な生活をサポートすることを目的とする。	月 1 回開催 【施設内研修】 12 月
リスク管理委員会	事故報告書の集計・管理を行い、事故の原因を追究し、事故防止につなげる。ヒヤリ・ハット報告書のマニュアルを作成し、各職員に周知徹底を図る。	月 1 回開催 【施設内研修】 9 月・3 月
安全対策委員会	毎月、避難訓練及び緊急時（応急処置、地震、水害、不審者対応等）の対策について周知徹底を図るとともに随時、マニュアルを見直し、全職員に周知徹底を図る。	月 1 回開催 避難訓練毎月 【施設内研修】 7 月・1 月
介護生産性向上委員会	ICT も含め、介護現場における生産性の向上に資する取組の促進を図る観点から、現場における課題を抽出及び分析した上で、状況に応じて、利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討する。	月 1 回開催 【施設内研修】 10 月
虐待防止・身体拘束適正化委員会	利用者の安全と人権擁護の観点から、適正な支援が実施され、利用者の自立と社会参加のための支援を妨げることのないよう、定期的に又は適時、委員会を開催し、虐待・身体拘束の予防に努めることを目的とする。	月 1 回開催 【施設内研修】 8 月・2 月
レクリエーション委員会	利用者個々が活発、かつ、楽しめるレクリエーション活動を企画し、実施後の評価を行う。また、職員のレクリエーション活動や年間行事に対するモチベーションの向上を図る。	各種行事、日常 余暇活動に必要な 都度随時

5. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みのある習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行 事 内 容	内 容
4 月	①お花見	①近隣にドライブに出かけ、花見をしながら昼食を行う。
5 月	①下太田花祭り	①地域行事として、催される釈迦の誕生を祝う祭りを見学する。
6 月	①家族会総会 ②バーベキュー大会 ③ドライブ外出（あじさい観賞）	①決算報告及び役員の選任を行う。 ②散策公園にてバーベキューを行い、楽しく昼食をとる。 ③ドライブに出かけ、あじさいを観賞する。（御津方面）
7 月	①七夕会	①七夕の笹飾りを楽しみ、展示する。
8 月	①納涼大会	①盆踊りや縁日を楽しみながら交流を図る。
9 月	①寿会 ②ドライブ外出（コスモス畑観賞）	①白寿・米寿の方の長寿を祝いボランティアによる舞踊鑑賞や食事会、記念撮影を行う。 ②ドライブにでかけ、コスモスを鑑賞する。（御津方面）
10 月	①秋祭り見学（吉備神社 魚吹八幡神社）	①地域の秋祭りの屋台やだんじりを施設前で見学する。
11 月	①やながせ文化祭	①法人内各事業所の利用者が創作した作品を展示した会場まで見学に出かける。
12 月	①クリスマス会	①食事会やサンタクロースからのプレゼント、記念撮影などを楽しみながら交流を図る。
1 月	①初詣（吉備神社・魚吹八幡神社） ②書初め	①神社へ初詣（参拝）に出かける。 ②新年の書初めを行う。
2 月	①節分（豆まき）	①節分の豆まきを行う。
3 月	①ドライブ外出（梅花観賞）	①ドライブに出かけ、梅の花を観賞する。

6. サービスの種類及び概要

利用者が家庭的な雰囲気のもと、日々の生活が過ごせるように次のサービスを行う。

サービスの種類	開催日	概要
お誕生会	月1回	併設保育園の園児と一緒に誕生日会を行う。
ドライブ	随時	ドライブに出かけ、季節の木や花を観賞する。
リハビリ	月4回	理学療法士・作業療法士がリハビリを行う。
散髪	毎月 第3月・火曜日	理容師の訪問により散髪を行う（実費）。
花の会	毎月 第2・4水曜日	ボランティアの方と一緒に、季節の花を個々に活けながら関わりを持つ。
お菓子販売	毎月 第2・4火曜日	業者から納品されたお菓子の販売代行による買い物体験を行う。
書道クラブ	毎週水曜日	題材など手本にそって、書道を行う。
園だよりの発行	月1回	施設での活動内容や取り組み等を毎月1回広報誌として発行する。

7. 地域福祉推進事業

地域住民を対象に認知症や介護・高齢者福祉に関する情報発信と啓発を行うとともに、相談に応じるなど、地域貢献の一環として、次の事業を実施する。

事業名	内容
イメージアップ推進事業 出前授業の開催 (兵庫県委託事業)	介護人材の確保の一環として、介護業務のイメージアップを図るため、一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会が製作したDVDやリーフレットを活用し、管理者と介護職員等が小学校・中学校・高等学校等での出前授業を開催する。(随時)
地域サポート事業	携帯電話などの通信機器を活用し、契約者からの連絡に応じて、訪問して、対応するなど24時間体制での見守りを行う。 地域サロンやセミナーの開催場所として、地域交流室を貸し出す。

8. 施設の安全対策

一人ひとりの利用者の安全な生活の継続を図るため、防災意識を高め、有事に備えて、次の災害への対策を実施する。

月	訓 練 種 目	内 容
4 月	消防訓練（日中体制）	日中体制での避難誘導の流れの確認
5 月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
6 月	自然災害対応訓練	風水害時の対応手順の確認
6 月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
7 月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
8 月	消防訓練（日中体制）	日中体制での避難誘導の流れの確認
9 月	地域防災訓練	地震を想定した、地域との連携訓練
9 月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
10 月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
11 月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
12 月	A E D ・ 心 肺 蘇 生 の 研 修	心肺停止時の蘇生及び A E D 使用訓練
12 月	消防訓練（日中体制）	日中体制での避難誘導の流れの確認
1 月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
2 月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
3 月	消防訓練（夜間体制） ※網干消防署立会	夜間を想定した火災訓練

9. 施設内職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研 修 名	対 象	研修担当
4 月	理念・倫理及び法令遵守、個人情報保護に関する研修	全職員	理事長・事務長
5 月	認知症に関する研修	全職員	認知症委員会
6 月	食中毒予防、災害食に関する研修	全職員	栄養委員会
7 月	災害・安全対策に関する研修	介護職員	安全対策委員会
8 月	身体拘束・虐待予防に関する研修	全職員	虐待防止・身体拘束適正化委員会

月	研 修 名	対 象	研修担当
9 月	リスク管理研修	全職員	リスク管理委員会
10 月	介護技術に関する研修	介護職員	介護向上・ICT委員会
11 月	感染症対策に関する研修	全職員	感染・衛生委員会
12 月	看取りケア研修	介護職員	医療的ケア安全対策委員会
1 月	災害・安全対策に関する研修	介護職員	安全対策委員会
2 月	身体拘束・虐待予防に関する研修	全職員	虐待防止・身体拘束適正化委員会
3 月	リスク管理研修	全職員	リスク管理委員会

※ 新任職員入職時には、理念、法令遵守、リスクマネジメント、感染症予防対策、各専門職種からの留意事項などの研修を行う。

※ 新任職員は、やながせ福祉会で言う合同新任職員研修に参加する。

10. 研修計画

各職員の職種と役割、経験年数に合わせて、習得すべき能力やスキルを明確にし、事業所としての水準の底上げを図るため、それぞれに応じた研修への参加を促す。

対 象	研 修 内 容	研 修 名
法人全体	・「持ち込まない」「広めない」「持ち帰らない」感染症対策について	感染症対策研修
法人全体	・大雨、洪水、高潮など自然災害時の対応について	災害対策研修
法人全体	・人権意識、倫理観、虐待防止について	人権擁護研修
法人全体	・福祉、介護の専門職として、持つべきマナーなどについて	接遇研修
法人全体	・健康管理について	産業医研修
管理者	・衛生管理について	人事・労務管理研修
中堅職員	・リーダーの役割、業務改善、課題達成提案、コーチングについて	マネジメントリーダー研修
介護職員	・喀痰吸引、経管栄養の実施手順と留意点について	介護技術向上研修